

社会福祉施設等のレジオネラ対策

【レジオネラ症は高齢者が罹りやすい病気です】

レジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染（飛沫感染）します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。病型は、劇症型のレジオネラ肺炎と一過性のポンティアック熱の二つに分類されます。流行は季節によらず、高齢者に多く発生しています。

高齢者、糖尿病、慢性呼吸器疾患、悪性腫瘍、血液疾患、重喫煙者、大量飲酒者、免疫抑制剤使用者、臓器移植後、自己免疫疾患など感染防御機能が低下した人は、感染すると肺炎を起こしやすいため、特に注意が必要です。



レジオネラ属菌の電子顕微鏡写真(出典: CDC/ Margaret Williams, PhD; Claressa Lucas, PhD; Tatiana Travis, BS)

【レジオネラ属菌はこんなところにいます】

レジオネラ属菌は水気のある場所にいるアメーバ類に寄生して増える菌です。飛沫の出る環境では管理次第でレジオネラ症の発生源になることがあります。

○入浴設備

循環式や気泡発生装置などがある場合は塩素消毒やろ過器の洗浄など日々の管理が必要です



○加湿器

超音波式加湿器はタンクの汚染も起こりやすくレジオネラ属菌を飛散をさせる恐れがあるため、適切な管理が必要です（詳しくは次ページ参照）



○給湯設備

循環している給湯設備では、消毒のための塩素濃度の維持管理か、60℃以上を維持する温度管理が必要です

また、シャワーヘッドを清掃しましょう



○冷却塔

空調用など冷却水を冷やす設備で、送風機を使って冷却する際に飛沫を周囲に飛ばすため、清掃や水質管理が必要です



○プール

プールや採暖槽では、塩素消毒やろ過器の逆洗などの日々の管理が必要です



○修景水

噴水や人工滝など循環して水を利用している施設では、管理が必要です



○ガーデニング

腐葉土などにレジオネラ属菌がいることがあります



取扱説明書をよく読み確認してしっかり管理しましょう

※入浴設備と給湯設備の管理について



詳しくは「社会福祉施設等におけるレジオネラ症予防対策（改定版）」を参照してください。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/eisei/yomimono/shakaifukushishisetu/shakaifukushishisetu-reji.html>



（お問い合わせ先）

東京都多摩府中保健所
生活環境安全課環境衛生担当
電話 042-362-2334

【超音波式加湿器に注意！】

超音波式の加湿器は、気化式加湿器と異なり周辺に大量の細かな水の飛沫を飛散させる上に、蒸気式加湿器と異なり加熱しないため殺菌されずにレジオネラ属菌を飛散させることがあります。

また、安価で簡単に使えるため、危険性を知らずに安易に使用してメンテナンスを怠りやすく、社会福祉施設で使用していて、実際にレジオネラ症感染者の感染源になったことがあります。

一般的な加湿器のメンテナンスのポイントは以下の通りです。

なお、装置によって異なる場合があるので、取扱説明書をよく読んで確認しましょう。

○ タンク内や水の触れる場所を洗浄・消毒する

触ってぬるぬるしている場合は、「バイオフィーム」ができています。そこではレジオネラ属菌が寄生するアメーバ類が増えていることがあり、レジオネラ属菌が増殖します

ぬるぬるがなくなるまで洗浄し、洗浄後に次亜塩素酸ナトリウムや消毒用エタノールで消毒しましょう

○ タンクの水はつぎ足さず、毎日交換

つぎ足すと菌がそのまま残るので、つぎ足し続けるとより多くの菌が繁殖することになり、時間の経った水は雑菌が繁殖していることがあります

タンクに入れた水は、毎日交換しましょう

○ 乾燥させる

レジオネラ属菌は乾燥に弱いので、定期的に乾燥させる時間を作りましょう

○ 使用終了時、再使用時に洗浄しましょう

加湿が必要な季節が終わり、保管する前にしっかり洗浄し、また、保管してあった加湿器を使い始める際にも洗浄しましょう

○ 水道水を使いましょう

ボトル水は塩素消毒がされていないので菌が繁殖しやすい水です
加湿に使用する水は、消毒されている水道水の使用をお勧めします



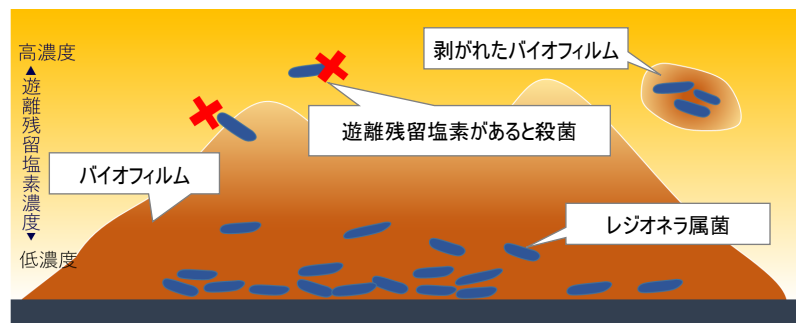
【浴槽水を消毒しているのになぜレジオネラ属菌がいるのか】

浴槽水に消毒用の塩素剤を入れていて遊離残留塩素濃度がレジオネラ属菌を殺菌できる 0.4 mg/Lを超えて管理しているのに、水質検査をするとレジオネラ属菌が検出されることがあります。

○ バイオフィームに守られて生き残る

バイオフィームは水気のある場所にある「ぬるぬる」で、様々な細菌やその死骸、細菌の分泌した物質、水分中のミネラル分の混合物です。

水中の遊離残留塩素は、バイオフィームと結合しますが、表面には作用しても中までは作用しないため、バイオフィームに隠れたレジオネラ属菌が生き残ります。

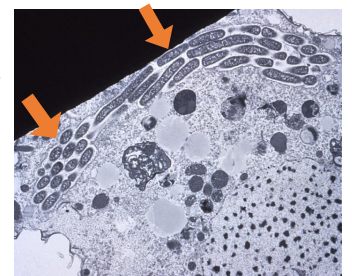


塩素からバイオフィームに守られるレジオネラ属菌

○ 遊離残留塩素に強いアメーバ類

アメーバ類には塩素消毒に耐性のあるものがあります。水道水やプール、浴場で使われている 1.0 mg/L程度の濃度では死滅しません。そのアメーバにレジオネラ属菌が寄生していたら、そのレジオネラ属菌も生き残ります。

レジオネラ属菌を含んだバイオフィームやアメーバ類が水質検査で採水する際に含まれると、水の遊離残留塩素濃度があってもレジオネラ属菌を検出します。なお、これらもレジオネラ症の感染源になりうるのでバイオフィームの発生を防ぎ、除去するなどの対策が必要です。



アメーバ内で増殖するレジオネラ属菌 (出典: CDC)

詳しくは「社会福祉施設等におけるレジオネラ症予防対策（改定版）」をご覧ください。（※前頁にURLあり）

「ぬるぬる」を除去するために清掃・消毒をしましょう